

日本フランス語学会第331回例会

2020年6月27日(土)

於 名古屋、Zoom開催

行為促進型表現における  
ポライトネス・ストラテジーの  
日仏語対照

岸本聖子(愛知県立大学)・谷智子(東洋大学)

# はじめに

- 公共掲示物には、人に特定の行為を促すための表示（以下、行為促進型表現）が多くある

1. [トイレの張り紙] Gardez ce lieu propre(トイレを清潔に保って [利用して] ください)
2. [新幹線の車両乗り口の自動扉] 動く扉にご注意ください
3. a. #家にいよう  
b. #Restezàlamaison

- 読み手に対してより積極的に働きかけるための何らかの **言語的工夫** が凝らしてある場合も多い

4. [トイレの表示] いつもきれいに使ってください、ありがとうございます.
5. [バスの表示] Je monte Je valide (Dhorne 2015)

👉 本研究では、このように聞き手に行為の実行を訴えるために言語的工夫が込められた表現のうち、**文レベル**のものを対象としてそれを **ポライトネス理論の観点** から、

各言語における行為促進型表現の特質と相違点  
公共表示だからこそ可能なストラテジー

について論じる

# 公共掲示物

看板として規格化されたものから手書きのものまで多岐に渡る。

- 言語景観研究の観点 (バックハウス 2005、本田他 2017): 大きく2種に分けられる。

① 公的表示(道路標識、地名表示、官庁の標識など)

(公的な) 組織・機関・法人などが、人々の行動、生活の利便性を高める目的で設置したもの

② 私的表示(店名表示、広告看板など)

営利を目的として活動する企業・法人等が、より大きな利潤を求める目的で設置したもの

※ 実例を見ると、上記2種の線引きが難しい場合もある (本田他 2017) : 例 JR

# 本研究の対象とする言語表現

- 公共掲示物における表現

👉 本研究では、広義の公的表示を「公共掲示物」とし、そこに見られる行為促進型表現の多様性について考察する。必要があれば、私的表示からも例示する。

👉 調査方法: 実際に街中にある掲示物を撮影し、収集データを表現方法別に分類(以下、特に言及のない例は実際の収集データからの引用である)

データ詳細: 国内においては2017年4月から現在(2020年6月)にかけて首都圏、大阪、神戸、名古屋で採取、フランスにおいては2017年8月から9月、および2018年9月にパリ(およびその郊外)、メッス、ノルマンディー地方、ブルターニュ地方で採取したものである。

- 行為促進型表現

公共掲示物において、人にある行為を促すための表示には、命令調のものから啓発的なものまで含まれる。本研究では「人に何らかの行為の実行を訴える」ために作成された表示をすべて対象とするため、これらをまとめて<行為促進型表現>とし、またその範囲を幅広く捉える。

# 先行研究

# 言語景観としての行為促進型表現

- 言語景観の観点から行為促進型表現に関して部分的に触れているもの
  - 峰 (2008): 交通標識の日本語と英語についてポライトネスの観点から分析
  - 岸江 (2011): 看板・掲示物の禁止表現についての分析
  - 高木 (2011): 大阪における公共掲示物を扱うが、主に使用表現のローカル化について分析
  - 金 (2011): 日韓語言語景観の禁止表現
  - Bayne (2018): 日本の言語景観におけるマナー啓発ポスターの特徴をマナーという行為の種類から分類
  - ロング (2014): 日本語の看板の語用論的問題
- 👉 行為促進型表現を全体的に俯瞰した研究はあまりない
- 👉 フランス語に関連した文献は管見の限りない
- 👉 以下、ロング (2014) を元に検討

# 行為促進型表現の類型

- 語用論的な観点から、日本語の「働きかけ」機能を持つ看板表記を言語形式ごとに 13に分類【日本語】聞き手への「働きかけ機能」、(ロング 2014) :直接的働きかけ

|               |  |
|---------------|--|
| 1. 依頼型        | エスカレーターのまわりでお子様を遊ばせないで下さい                    |
| 2. 要請型        | ご注意くださいますようお願いいたします                          |
| 3. テ形型        | 手すりにつかまって、幼児の手を引いて、のぼらないで！<br>混雑緩和のため横2列で並んで |
| 4. 形式名詞型      | ハンドル (手すり) から体を乗り出さないこと                      |
| 5. 否定形の断定型    | このまわりであそばない                                  |
| 6. 勧誘型        | 黄色い線の内側に乗りましょう                               |
| 7. 動詞省略型      | 黄色い線の内側に                                     |
| 8. 命令型・禁止型    | 大のフン持ち帰れ！走るな！                                |
| 9. 名詞止め文型(直接) | 犬のフン禁止                                       |

# 行為促進型表現の類型

【日本語】聞き手への「働きかけ機能」(ロング 2014) : 間接的働きかけ

|               |   |
|---------------|---|
| 1. 陳述型        | 危険です (→だからするな)  |
| 2. 予測型        | (→もし○○をしたら・しなければ) けがをする恐れがあります (→だからするな)                  |
| 3. 警告型        | フンの放置は条例により罰せられることがあります (→だからするな)                         |
| 4. 名詞止め文型(間接) | [エスカレーターで] からだのりだしきけん / (転置文) 危険ですよ! ホームのながら歩き。(→だからするな!) |
| 5. 質問・呼びかけ型   | その音、漏れていませんか? 知っていますね / ゴミは持ち帰りです。                        |

※網掛け部分: 文形式

# ロング (2014)

- 形式上、3つに分類可能: 文形式 [直接的働きかけ] 1, 2, 5, 6, 8 [間接的働きかけ] 1, 2, 3, 5

文の一部省略型 [直接的働きかけ] 3, 7 [間接的働きかけ] 0

名詞文型 [直接的働きかけ] 4, 9, [間接的働きかけ] 4

- ① 「直接的働きかけ」のうち、勧誘型「～ましょう」「～よう」は<話し手意志>、<誘いかけ>、のどちらをも表しうる形式であり、またその用法の違いは絶対的なものではなく連続的なものである (仁田 1991) ことから、他の表現群と比較して異質である。
- ② また、この同様の観点から、「～する」形(辞書形、ル形)も<話し手の意志>と<聞き手への命令>の機能を持つため、他の表現群とは異質である。(その否定形「～しない」(ナイ形)も同様 [ロングの分類では5. 否定形の断定型])(尾上 1978, 牧原 1993)
- ③ 典型的な表現が整理されているが、網羅的なものではなく、この表に含まれない表現もある。

👉以降、上記3点について、日本語、フランス語の順に詳しく検討する

# ①「～ましょう」「～よう」形

- 仁田 (1991): 動作主体に話し手を含まない<やわらげた命令>も想定する

6. 今日はひとつ入ってみてやろう <話し手意志>動作主体は1人称

7. おまち遠さま。さあ、すぐに出かけましょう <誘いかけ>動作主体は1・2人称

8. こどもにいたずらをしないようにしましょう 茨木市立中津小学校(看板)<やわらげた命令>

- 庵等 (2000) :

- \* 基本的に「意志」を表すが、話し手の意志を聞き手に表す際には「と思う」などといった表現とともに使われるものとしている。

- \* また、その表現が単独で使われる場合、聞き手が不在の場合は独り言のように話し手の意志を表すが、聞き手が存在する場面においては、「勧誘」を表す。

# ①「～ましょう」「～よう」形

- 姫野 (2008):

\* 勧誘型「～ましょう」「～よう」は、1人称の意志を表すことを基本とし、語用論の観点から見た場合、勧誘、依頼、指示という発話行為となるとしている。

9. お薬を出しておきますので、毎食後1錠ずつ飲みましょう

## ②「～する」形

- 尾上 (1979):

「ソコニスワル」という形は「そこにすわる」という一つの事態をあくまでただその事態として表示するだけのものである。何かを相手に求め得るような、あるいは求めざるを得ないようなあり方の言語場において、実現を求めるその事態内容をただそのまま「そこにすわる」とことばにすると、聞き手の情報認識能力によって、それは聞き手自身に向けられた要求の内容、あるいは聞き手がそこで為すべき行為の指定内容となる。これは、自動車教習所の教官が助手席でぶっきらぼうに「ブレーキ」「アクセル」と指示するのと等しく、また遊び疲れて帰ってきた子供が「お茶!」と叫ぶのにも連続するであろう。「ソコニスワル」という事態の 素材的な表示形が、言語場のあり方に支えられて、そのアモダールな姿のゆえに、命令の内容として機能するのである。 (尾上 1979、下線は発表者)

→モダリティが未分化の状態にあり、<意志>であるか<命令>であるかが曖昧

→素材表示的＝フランス語の不定詞文に類似？

- 仁田 (1991): このタイプの働きかけ文で実現を要求されている事態とは、発話直後に実現されるべき差し迫ったものである

10. a. さっさとする  
b. ?? 3時間後にする!

## ②「～する」形

● 牧原 (1993):「～する」形(辞書形、ル形)の基本的な意味は<述べ立て>(=叙述)。叙述文は人称制限がないが、<命令>の意味は一定の条件の元、語用論的に派生

11. 明日行く(=明日行こう)<話し手の意志>

12. さっさと掃除する <聞き手への命令>

\* 聞き手が意志的に制御可能な未来の事象を確言として表現

\* 文脈に強依存:すでに行為要求を行なっている場合に行為の実現を促す。非言語的なものも含め、何の文脈もなく使用することはできない。

13. [寝転がっている父親が子どもに向かって] a. おい、灰皿を持って来い

b. \*おい、灰皿を持って来る

\* また、その行為を行うのが 当然とみなされる場合にも使用可能

14. [書類は書き上げたら上司にすぐに見せるという習慣の中で] 書類は、できたらすぐに持ってくる。

## ②「～する」形

● 鄭 (1993): 「ル」形が直接聞き手に対し、ある行動を起こすことを要求する働きかけの意味を表すのは、主格が2人称あるいは、1人称複数するとき(その場合は話し手も行動に参加する)

15. さっさと片づける

16. 我々はこれから頂上に向かって出発する

→ これらの分析は、機能分類した場合、結果的には<意志>とも<命令>ともとれる

### ③ロング(2014)で扱われていないタイプー日本語の場合

- 感謝表現の含まれているもの

いつもきれいに使っていただき、ありがとうございます。



- 掲示内のイラストの視点をとるもの(掲示内のイラストが主語)

**私も引き込まれました**

**私の**心の中の天使が「ゆずってあげて」とささやいた  
(エスカレーター乗り方大賞) 荷物をしっかり **持っている!**

cf. (広告) **私は**10年洗わない



### ③ロング(2014)で扱われていないタイプー日本語の場合

- 行為促進型表現 + α

いつもきれいに使っていただき、ありがとうございます

**トイレは自分のお部屋ですよ！**きれいに使いましょう

動かしたら必ず戻す！ **お客様から裏が丸見えです**

トイレ内は禁煙です [省略] 感知器が発報して、トイレが使えなくなり、**他のお客様のご迷惑になります。**

**みんなが見ています** ゴミ分別のマナー

- その他

**すきやねん西区 わたしたちのまち西区をきれいにしよう！！**

車内へ次の物品を持ち込むことを**禁止**します。

フンのあとしまつは**飼い主**の義務です

庭園保護にご協力いただきありがとうございます **ございました**

かけ込み乗車はしないでね

### ③ロング(2014)で扱われていないタイプ

【フランス語】ロング (2014) に従った「働きかけ機能」表現(直接・間接)の分類

文形式 [直接的働きかけ] **Tenez** votre chien en laisse / Sonnez **S.V.P** /

**Il est** formellement interdit de monter sur la balustrade

[間接的働きかけ] Tu risques de te faire pincer très fort.

Un épanchement d'urine sur la voie publique c'est 68 € d'amende /

Faite-vous la même chose chez vous ?

文の一部省略型 [直接的働きかけ] **Attention** aux vols ! / **Même** tenue en laisse /

**Attentifs** ensemble / ..., **à tenir** hors de portée des enfants

名詞文型 [直接的働きかけ] Interdiction de fumer / Prudence / Prière de ne pas stationner

Votre offrande à St Joseph Merci / Un geste pour économiser l'eau !

[間接的働きかけ] Danger / Chien méchant / Danger de mort / Risque d'effondrement

### ③ロング(2014)で扱われていないタイプ

- 不定詞を用いた文は十全な文か名詞文扱いか

17. Ce site est équipé d'un défibrillateur. **Utiliser** l'interphone pour l'obtenir.

18. **Ne rien jeter** dans les WC

→日本語「～する」型についての尾上の分析に照らし合わせると類似していると考えられるが、日本語の「～する」型では他の文と同様、人称を設定することが通常であった。その点、フランス語の不定詞文は見かけの上ではより名詞的と言える。

→今回は分析の対象から除外

### ③ロング(2014)で扱われていないタイプ

- 感謝表現の含まれているもの

**Merci d'**utiliser l'une des 400 sanisettes installées dans Paris

- 1人称複数命令形

**Restons** civils sur toute la ligne

- 1人称単数主語を用いるもの

Au signale sonore, **je** m'éloigne des portes (cf. 泉 2012, Dhorne 2015)

**Je** suis réutilisable, ne **me** jetez pas dans la nature <擬人化 (ビニール袋に記載)>

- フランス語の文レベルの行為促進型表現で問題になる点

vous / tu / nous / je などの人称性が感じられる文か、非人称構文か

# 本研究の目的と方法

## 日本語の場合：

勧誘型「～ましょう」「～よう」、断定形「～する」「～しない」など、本来、話し手の意志を表す標識が行為促進に使用されている

その他、＜感謝表現＞＜掲示内のイラストの視点をとるもの＞＜行為促進型表現 +  $\alpha$ ＞＜いずれの 카테고리にも収まらない文＞が観察される

## フランス語の場合：

日本語との比較では＜感謝表現＞や 1人称複数命令形が共通点として、非人称構文を用いた文や 1人称単数主語を用いた文が異なる点として観察される



人称性に焦点を当て、日本語とフランス語における行為促進型表現の **意図(および効果)** について、ポライトネス理論を援用しながら分析し、また各言語間の相違点を考察する。

# ポライトネス理論

# Brown & Levinson (1987、以下B&L) : も影響力のあるポライトネス理論

- 「話し手と聞き手の双方向における配慮」の理論化
- フェイス(人間の基本的欲求)を鍵概念とする(Goffman (1967) に由来)
- 2種のフェイス

## ① ポジティブ・フェイス:

自分の欲求が他者にとって好ましいものであってほしい、他者と接近したいと思う欲求

## ② ネガティブ・フェイス:

自分の行動を他者から邪魔されたくない、自分の領域を守りたい欲求

※ 文化によって、これらのフェイスに含まれる内容は異なるが、「相互行為において参加者がフェイスに関する知識を有しており、フェイスに配慮することが社会的に必要である」ことについては、あらゆる文化に普遍的であるとした。

- **FTA:フェイス侵害行為 (Face Threatening Acts)**

⇒フェイスを保持したいという欲求を脅かす行為

例)「批判」:ポジティブ・フェイスに対するFTA(承認欲求の侵害)

- B&Lは、**全ての行為がFTAとなり得る**とした

一見、FTAとならない行為でも、FTAになり得る

例)「褒め」:ポジティブ・フェイスを高める行為

一方で、褒めるという行為は、受け手はその対象を守るために行動を起こしたり、褒めの対象となる物を譲らなければならないと考えさせる可能性もあるため、ネガティブ・フェイスへのFTAとなり得ると説明されている。

- **FTA度合い見積もり公式**:フェイスを侵害する度合いがどれくらいか見積もる公式

$$Wx = D(S,H) + P(H,S) + Rx$$

D: 話し手と聞き手の社会的距離

P: 話し手と聞き手の権力

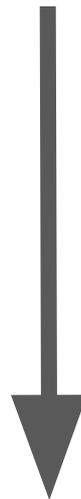
R: 特定の文化における押し付け度合い

- **ポライトネス**: 上記D値, P値, R値 を考慮し、**FTAを補償する、あるいは高める行為**

ある行為を遂行する前に、人は必ず上記の公式でFTA度合いを見積もる。その度合いが低いものから順に、以下のポライトネス・ストラテジーを選択する。

- ① **直言(ボールド・オン・レコード)**
- ② **ポジティブ・ポライトネス**
- ③ **ネガティブ・ポライトネス**
- ④ **ほのめかし(オフ・レコード)**
- ⑤ **FTAを行わない**

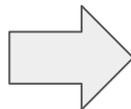
- ① 直言(ボールド・オン・レコード)
- ② ポジティブ・ポライトネス
- ③ ネガティブ・ポライトネス
- ④ ほのめかし(オフ・レコード)
- ⑤ FTAを行わない



FTA見積もり度合い 低

FTA見積もり度合い 高

FTA 度合い 見積もり



(ポライトネス・ストラテジーを伴う)  
行為遂行

## ストラテジー1: 直言(ボールド・オン・レコード)

⇒D値, P値, R値 最小になることによって、相手に配慮する必要性がない場合

例)(火事の現場で)危ない！早く逃げろ！

:事態の緊急性が全てに優先され、配慮を伴わない形で発話する。

(滝浦 2008)

## ストラテジー2: ポジティブ・ポライトネス

⇒ ポジティブ・フェイスに基づいたもの: 相手との距離を縮める

**「共感」のポライトネス・「連帯」のポライトネス**(滝浦 2008)

ポジティブ・ポライトネス例:

### ① 相手に気づき、注意を向ける

例)「あ、髪切ったんだ！ イメージ変わったね～。」

### ② 共通基盤を仮定する・喚起する・主張する

例)「バーゲンがあると、つい買いたくなるじゃないですか。」

(同意できそうな一般性に訴える)

### ③ 自分と相手の両者を行為に取り込む

例)(医者が患者に)「じゃあ、お薬出しますので、しばらく様子見ましょうね。」

(滝浦 2008)

## ストラテジー3: ネガティブ・ポライトネス

⇨ネガティブ・フェイスに基づいたもの: 相手の領域に踏み込まない

**「回避」のポライトネス** (滝浦 2008)

ネガティブ・ポライトネス例:

### ① 慣習的な間接性に訴える

例)「日程が決まり次第、ご連絡をいただければと思います。」

(依頼の表現は用いず、依頼の前提だけ言及する)

### ② 曖昧化する

例) (志望校を決める三者面談で教師が)

「この学校は...ちょっと無理みたいですね。」

### ③ 謝罪する

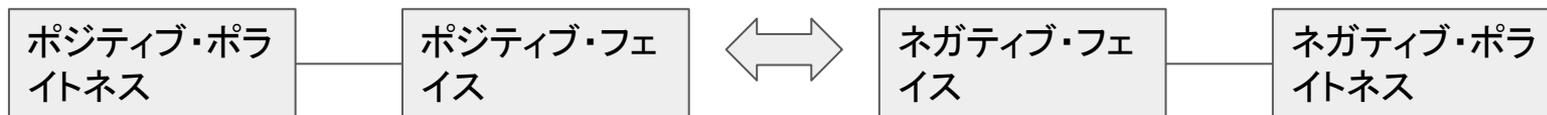
例)「こないだはどうもありがとう。いつも気を使ってもらっちゃって申し訳ないね。」

(滝浦 2008)

# ※ ポジティブ・ポライトネス と ネガティブ・ポライトネス

<近接化>

<遠隔化>



・直接表現

・褒める

・間接表現

・謝る

(滝浦 2008)

## ストラテジー4: ほのめかし(オフ・レコード)

⇨事柄を明示的に伝達せず、用件への直接的な言及を回避するストラテジー

グライスの「会話の公理」(質の公理・量の公理・関係の公理・様態の公理)からの逸脱

・グライス: 会話の含み (implicature) に当たる

ほのめかし 例:

### ① 暗示する(関係の公理違反)

例)「今日は暑かったから喉がかわくね」(⇨ビールでも飲みに行きたいな。)

### ② 聞き手を他人に置き換える(様態の公理違反)

例)(直接頼みにくい相手がいる場合)

「誰か醤油とれる人いる？」(⇨近くにいるあなた、醤油とって)

(滝浦 2008)

# 実例の分析

## ● ポライトネスと行為促進型表現

例)「依頼」という発話行為

⇒ 相手のネガティブ・フェイスを侵害する可能性

⇒ ネガティブ・ポライトネスを行使

例) お忙しいところ恐縮ですが、日本語のネイティブチェックを していただけませんか。

(滝浦 2008)

⇨ 行為促進型表現も同類:

ネガティブ・フェイスを侵害する可能性を秘めており、それを保障するストラテジーが行使されると考えられる。

⇨ 本発表では、これを前提に、実際の会話とは異なる「公共掲示」の特異性も考慮に入れ、分析を進める。

# ① 直言ストラテジー (ボード・オン・レコード)

- 日本語: 遂行文型

19. 車内へ次の物品を持ち込むことを **禁止**します。

- フランス語:

フランス語においては、現時点の調査で遂行文を用いた行為促進型表現は確認できなかった

車内へ次の物品を持ち込むことを禁止します。

1. 危険物及び他に危害を及ぼすおそれのあるもの。
2. 死体。
3. 動物（愛がん用小動物等で容器に入れたものを除く）。
4. 規定以上の大きさの物品。
5. 乗客に迷惑をかけるおそれのあるもの。
6. その他係員が持ち込むことを不相当と認められたもの。

駅長

- 指示内容を明確化する遂行文型(日本語)

⇒「**直言ストラテジー**」:

直言が用いられる状況は D値(距離)・P値(力)・R値(負荷度)がそれぞれ最小になることによって、選択されるストラテジー(滝浦2008)

- **発信者の匿名性・指示内容により、FTA度合いが低く見積もられたと考えられる**

※ 指示内容: 法律的にも取り締まられている内容であるため、

直接的で、強制力を持たせる表現を持って指示された場合でも、

深刻なフェイス侵害にはなりにくいと想定されたものといえる。

## ② ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー

### 1. 感謝を表す表現

- 日本語:「～していただきありがとうございます」型

20. いつもきれいに使っていただきありがとうございます

- フランス語:“ **Merci de ~** ” 型

21. **Merci d'**utiliser l'une des 400 sanisettes installées dans Paris

22. **Merci de** préparer votre passeport



## ①「いつもきれいに使って」:

- 他人の行為に関する一般的傾向を指摘することで、今後もそうした事態が生じるだろうと予測している。
- 「常に」望ましい行為をするものであることが想定されている
  - ⇒ **ポジティブ・フェイス** (承認欲求) を満たす。

## ②「ありがとうございます」

- ⇒ 「礼を言う」: **ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー**

## 2. 日本語:「ましょう」「よう」型

23. 密を避けて外出しましょう！

24. イベントや集会で3つの「密」が重ならないように工夫しましょう。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

# 3つの密を避けましょう！

①換気の悪い  
**密閉空間**

②多数が集まる  
**密集場所**

③間近で会話や  
発声をする  
**密接場面**



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。  
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

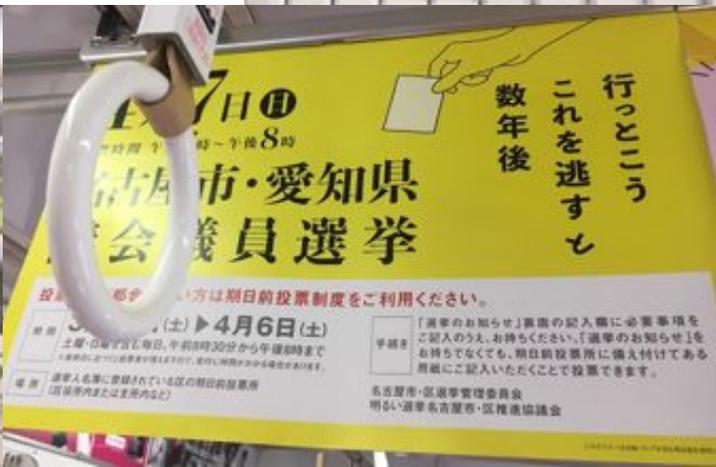
3つの条件がそろう場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い！

※3つの条件のほか、共同で使う物品には  
消毒などを行ってください。

首相官邸  
厚生労働省  
厚労省 コロナ 検索



- 25. 並ぼう！整列乗車！
- 26. やめましょう。歩きスマホ
- 27. みんなでシェアろう！
- 28. 行っところ これを逃すと 数年後
- 29. 歩くなら しまっておこう スマートフォン



- **受信者を取り込む戦略** :「～ましょう」「～よう」

姫野 (2008): 本来、一人称の意志を表す

語用論の観点から見た場合、勧誘、依頼、指示という発話行為:

**話し手と聞き手を巻き込む**

※「～よう」「～ましょう」に対する日本語母語話者の適切性判断はそれほど高くない。それは、これらの表現は基本的に1人称の意志を表すものであることから、強引な印象を生み出す可能性があるためであるとされている。しかしながら、共同行為や誘い掛けを「装って」、聞き手に働きかける場合はこの種の表現が用いられる。

(姫野2008)

⇒ **話し手・聞き手の双方が共同行為者と位置付ける**

⇒ **ポジティブ・ポライトネス・戦略**

### 3. フランス語:1人称複数命令形 -ons

30. Bloquer les portes au départ met tous les voyageurs en retard.

**Restons** civils sur toute la ligne

[https://www.lepoint.fr/societe/quand-l-incivilité-fait-sourire-22-06-2012-1476434\\_23.php](https://www.lepoint.fr/societe/quand-l-incivilité-fait-sourire-22-06-2012-1476434_23.php)

31. Dehors, dedans, **ayons** partout le bon réflexe !

32. Il n'y a pas de petit papier par terre. Il n'y a pas de petite incivilité.

**Agissons** ensemble. Toutes nos actions sur SNCF.COM



## 1人称複数命令形 -ons

- ・日本語の「～ましょう」に相当する聞き手取り込み型（包括代名詞）の表現である。本来は行為の実行には聞き手だけでなく話し手も含まれるはずだが、行為促進場面での使用では聞き手にのみ行為を要請している。
- ・行為促進場面において、本来、話し手の行為の実行を含む記号を用いることで、聞き手と目線を並べ、聞き手（読み手）への働きかけを和らげている（**社会的距離を縮め(D値)**、**権力関係を融和(P値)**）

==>この点では日本語と類似 **ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー**

## 1人称複数主語 nous

1人称複数主語 nous を用いた指示文は不自然であり、そのような掲示が容認されるような状況を見つけるのは非常に難しい。考えられるのは小学校教員の生徒に対する発話などで、その場合の nous は包括代名詞ではなく、tu や vous の変異系のように理解される (Dhorne 2015)

==>1人称複数人称代名詞 nous は、フランスではもっぱら間接的な行為促進型表示においてが出現し、サービスの提供側と受け手を明確に峻別する手段として用いられている

## 聞き手を巻き込まない1人称複数主語 nous ; nousとvousの対峙

33. **Nous** nettoyons ces toilettes régulièrement.

Pour le confort de tous, merci de **nous** aider à les garder propres.

34. Votre sécurité est importante pour **nous**. Des ascenseurs sont à votre disposition.

35. Ne voyez-**vous** pas ? Les déjections de votre chien sont une nuisance physique, visuelle, olfactive...

**Vous** êtes responsable de votre animal.

NOUS NETTOYONS CES TOILETTES RÉGULIÈREMENT.  
POUR LE CONFORT DE TOUS,  
MERCİ DE NOUS AIDER À LES GARDER PROPRES.

SNCF

